

【全体概要】

スイートピーは品種の豊富さや日持ちの良さから国内外からの需要が高く、輸出量も増加傾向にある。しかし、天候の影響を受けやすく、定植直後や出荷開始時の高温遭遇による生理障害等の発生が問題となっている。そこで、細霧冷房による環境制御技術を検討・導入し、ハウス内温度上昇の抑制を図り、年内の安定出荷と品質向上を目指す。

新品種・新技術等の概要

○細霧冷房による環境制御技術細かい霧を施設内で雾化させ、周囲の空気を直接冷やことで、秋期の温度上昇を抑制でき、一定の環境制御技術の効果を確認できた。なお、農家の自力施行も可能で、低コストである。



スイートピー栽培ほ場



細霧冷房装置

主な取組内容

【検討会の開催】

- ・実証ほ現地検討会(1回)
- ・実証ほ実績検討会(1回)

【調査】

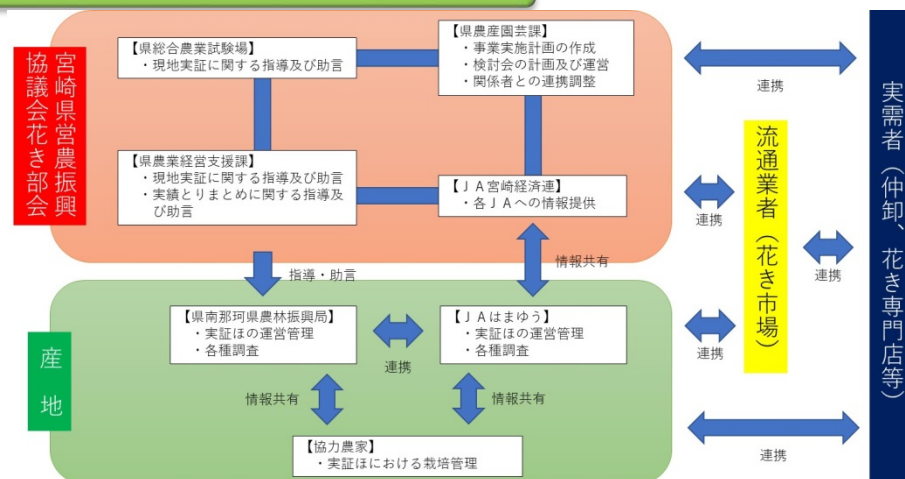
- ・消費地における出荷物品質調査(2回)
- ・日持ち調査(1回)

【マッチング活動の実施】

- ・実需者との意見交換・マッチング会(3回)

※H30年(1年目)

実施体制図



課題と今後の対応

【実証結果等の概要】

・細霧冷房による環境制御技術の仕様については、短い稼働時間で間断サイクル数の多い方が降温効果が高く、ハウス規模が小さい方が降温効果が高いことを把握した。

【今年度の取り組み】

- ・本技術の活用・普及にむけて、生産者・実需者・指導員を交えた検討会及び研修会を実施する。
- ・費用対効果や収益性を分析し、本技術の普及マニュアルを作成する。